

北海道旅行記 (1)

高井 珠希

夏の初めの頃、夫婦と犬の三人(?)で北海道へ行って来た。寄居の自宅を出て最寄りのインターから東北道に乗り、佐野藤岡インターで降りる。なんと、そこからは一般道で、青森は下北半島の大間崎(本州最北端の地)を目指そうというのである。ここまで読まれた方は恐らく「バカじゃなかろうか」と思っていることだろう。この件については色々と言明させて頂きたいこともあるのだが、字数の関係で、それもできない。

「まあ、ともかく」夫が震えながら言う。「どこか適当な店に入って何か食べようよ」。大賛成！岬付近には複数の食堂が並んでいて、今回の旅にふさわしいと思われる店に飛び込んだ。

そんなこんなで到着した。大間崎である。およそ本州最北端の店。ガラッと引き戸を開けると、嬉しいことにシュンシュン音をたてて旧年式のストーブが燃えている。暖かさにホッとしてため息が出る。席に着いてコートを脱ぎ、メニューをチラッと目に入れ、即座に注文した。大間といえはマグロ以外に考えられないので、私はミニマグロ丼を、夫はマグロ、ウニ、イクラが載った三色丼ミニを選んだ。

数分後、生海苔の味噌汁と自家製塩辛、それに淡いピンク色の紅ショウガという三品のお供を連れて、お盆に載ってやってきた。早速食べる。うまい。いや、そんな言葉では言い表せないほど美味しい。マグロは脂がのった中トロだし、イクラはプチプチ新鮮なのに皮が柔らかい。しかも、特筆すべきはウニのうまさ。注文後に捌かれて甘く、思わず目を見開いてしまう。そしてその瞬間、幼少時の思い出が頭をもたげた。



大間崎

二十年前ほど前のこと。当時私は北海道に住んでおりました。まだ風は冬のように冷たく、私は再びコートの襟を立てた。車に乗り込むと二人同時に、寒かった！と叫んだ。季節はそろそろ夏だというのに、こんなに寒いなんて。「井、ミニにしておいて良かったね」と夫。私も全面的に同意する。なにしろこれからフェリーにのるのだ。船旅に満腹は禁物だ。

賢明な選択を称え合う二人と犬を乗せ、車はフェリー乗り場を目指して走った。(続く)

「加齢と運動器」 埼玉医科大学 市民公開講座 11月15日(川崎市)

「加齢による運動器障害、運動器不安定症とは何か」13時~14時30分 織田 弘美(埼玉医科大学病院 整形外科・脊椎外科教授) ②「運動器不安定症の要因としての骨粗鬆症」15時~16時30分 宮島剛(埼玉医科大学病院 整形外科・脊椎外科教授)

「観光振興とまちの活性化」

11月22日にシンポジウム

川越奥武蔵観光情報学研究会

NPO法人川越奥武蔵観光情報学研究会(川奥研、桑原政則会長)は、11月22日(土)、川越市内で「観光振興とまちの活性化」と題するシンポジウムを開く。

同研究会は、観光と情報について意欲をもつ実務者と研究者が集まり、共に活動する輪を作り、社会貢献することを目的に07年9月に設立された。関東圏で初の観光情報学会(全国組織)の研究会。その後県内初の観光NPOとなった。

映画『ブタがいた教室』

サイボクハムの子豚が出演



中央ブタを抱いているのが前田監督、その右は主演の妻夫木聡

☆連絡は、桑原会長(東京国際大学教授) 070・6456・7965へ。

弓削多醤油(本社坂戸市)が運営する醤油に関する体験型施設「醬遊王国(日高市)では11月8日(土)、9日(日)、「醬遊王国祭」を開く。

同施設は、醤油の製造工程を見学できる他、もろみの搾り体験、醤油を使った料理の紹介などを行っている。醤油のテーマパーク。祭り当日は、オリジナルラベル醤油の贈答品、くじ引き、卓上醤油のプレゼントなどの催しがある。

2008年度2回目の「淑徳大学/みよしコミュニティ・カレッジ」は「東上線沿線の歴史と文化Ⅲ」のテーマで、5回の講座を開催いたします。

その反面、東上線沿線には川越の「蔵造りの町並み」がある。川越の歴史的遺産が岩切章太郎賞に輝くなど評価が高い事を知ってほしいが、小田原に来て改めて実感した。

本紙よりのご依頼

1. スタッフの募集
記者、読者紹介、広告の交渉、他、空き時間のお仕事で結構です。
2. 投稿の募集
2面「道しるべ」欄 沿線地域の写真、イラストなど。
3. 情報提供
取り上げてほしい話題、企業、人物、街のお勧めスポットなどをご推薦ください。
4. 広告、PR記事
PR記事は掲載者は無料です。

醬遊王国祭

弓削多醤油(日高市)

紹介 募集 案内

①11月1日(土)「柳沢吉保と川越」(宮川葉子) ②11月8日(土)「茅の輪めぐり神事について」(瀧音能之) ③11月22日(土)「川越文化あれこれ」(矢島健三) ④11月29日(土)「東上沿線の渡来人の歴史」(宇佐美正利) ⑤12月6日(土)「池袋道遥」(今井義博)

淑徳大学大学祭公開講座

10月25日(土) 10月26日(日)

(1) 13:00~15:00
書学文化センター 碑帖鑑賞への招待
講師 伊藤滋(東京学芸大学教授・木鶏室) 小川博章(淑徳大学准教授)

(2) 15:00~16:30
秋山慶生先生・宮川葉子先生の源氏物語千年紀記念講演会
特別ゲスト 秋山慶生(東京大学名誉教授) 講師 宮川葉子(淑徳大学教授)

会場 淑徳大学みよし台キャンパス(東武東上線みよし台駅よりスクールバス)
お問い合わせ: 〒171-0022 豊島区南池袋1-26-9 MYT 第2ビル7F
「淑徳大学エクステンションセンター」 TEL 03-5979-7061 FAX 03-39887470

埼玉医科大学市民公開講座

平成20年度テーマ「加齢と病気」

身近な病気的话题を取り上げ、一般の方々を対象として市民公開講座を開催します。多くの方のご参加をお待ちしております。

場所 埼玉医科大学かわごえクリニック 6階 大会議室
川崎市麻生区本町21-7 電話: 049-238-8111(代表)

受講料 ¥1,000(資料代等) *初回の方のみ

[お申し込み・お問い合わせ先]
埼玉医科大学 医学教育センター 市民公開講座係
電話: 049-276-1707 FAX: 049-276-1750 e-mail: lecture@saitama-med.ac.jp

編集雑記

ツリーングの途中、小田原へ寄った。小田原と言えはやはり「北条」だ。越前も、北条と言えは川越沿線にもその名が登場する所は沢山ある。北条の本場はどんなもんなのか「近づくとつれて沸いていた」。

小田原駅西口にはロータリーが広がり、その真ん中に北条早雲像が立っていた。熊谷直実像がロータリーの真ん中に立っている熊谷駅北口にそっくりな風景だった。

東上線沿線には城跡や館の城しか残っていない。だから小さく部類とは言えお濠を挟んで見上げた小田原城の天守閣は、正直立派で羨ましかった。けれども、お濠の周囲や駅前、あるいは少し遠くまで行ってみても無数のものがあつた。それは「城下町」。関東一円を支配した北条氏の本拠地小田原であれば、歴史ドラマで見る様な風情を残した町並みがあるだろうと思つていました。